

2 工学部における教育理念

人間、社会、環境等の何れにも配慮し、人類の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、学部・修士・博士課程の特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の育成を行う。

岡山大学工学部は、機械工学科、物質応用化学科、電気電子工学科、情報工学科、生物機能工学科、システム工学科、通信ネットワーク工学科の7学科から構成されており、自主的な行動力、総合的な判断力、国際性、倫理観を有する「課題探求型人材」育成のために4年一貫教育を次の理念で行っている。

「課題探求型人材」の育成のための教育理念

① 自主的な学習能力、探求能力の育成

基礎基本の教育の課程において、与えられた条件のもとで自ら調べ、まとめる能力を育成する。

② 柔軟で総合的な判断能力の育成

自主性・探求能力の向上に伴い、さらに広い問題に対して、問題点の整理、関連技術、今後の解決策、環境・社会的影響等について総合的に判断する能力を育成する。特に、学部教育においては、基礎理念、基礎・応用設計、製作、評価の一貫的な能力を育成する。

③ 倫理観、社会貢献する態度の育成

技術者、研究者、社会人としての倫理観、社会貢献についての視点を明確にできる能力を育成する。特に社会貢献については、自主的に活動に参加する積極性を育成する。

④ 外国語及び情報活用能力の育成

国際的な高度専門職業人として必須である語学及び情報処理の基本・応用能力を育成する。

⑤ 豊かな人間性の育成

教養教育、専門教育による学生の学問的・技術的資質の向上、及び大学生活での交友と、課外活動、社会活動への参加による一般資質の向上により、豊かな人間性を育成する。

工学部では、21世紀の工学分野における研究、技術開発を担う課題探求型人材を育成するために、教養教育科目及び専門教育科目において基礎基本知識、理論展開、実験実習による技術の習得を丹念に行えるカリキュラムの編成を行っている。